

奈良県指定文化財調査票

調査日	2020 年	7 月	25 日	記入者	仲谷裕巳
調査者名	春日	仲谷	安田		

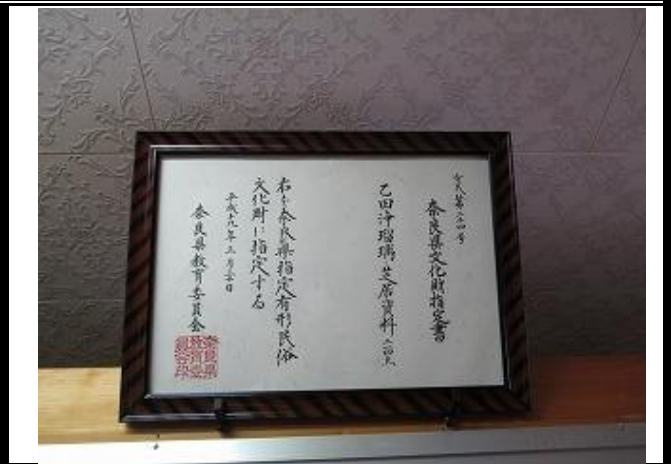
文化財名	乙田浄瑠璃・芝居資料				
種類	<input type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input type="checkbox"/> 天然記念物	<input checked="" type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ()
指定年月日	2007年(平成19)3月30日				
所在地	生駒市萩の台1071、石福寺境内				
所有者 管理者	萩の台文化財保存会				
員数	214点				
時代区分					
樹木の場合	(樹木名)			(樹齢)	
案内板の状況					
公開	見学は要予約				
保存状態	<input checked="" type="checkbox"/> 非常に良い	<input type="checkbox"/> 良い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い
	補足 ()				
当面の課題	保存会を発足させ文化財保存館を建設した。生駒市の指導を得て保存に努めている。空調はエアコンで行い、保存会会員が交代で毎日管理している。保存会会員は高齢化している。				
今後の課題	浄瑠璃本や衣装などは、防虫剤や湿度に気を使いながら年1回虫干しを行っている。雨漏りや停電の場合の対応に課題が残る。				
その他 (由緒など)	幕末の頃、趣味の浄瑠璃語りが流行したことから、村人は農作業の合間に稽古を続け、歌舞伎と人形浄瑠璃を演じた。この村芝居は村人に貴重な娯楽を与えた。				
コメント	江戸末期から昭和にかけて続いた人形浄瑠璃や芝居の資料が集められ、農村地域で村芝居を楽しむ人々の姿を生き生きと浮かび上がらせた歴史が垣間見える。この資料を地元で保管管理されていることに保存会の皆様の情熱が感じられる。				

奈良県指定文化財調査票(写真)

調査日	2020年	7月	25日	記入者	仲谷裕巳
調査者名	春日	仲谷	安田		

文化財名	乙田浄瑠璃・芝居資料
------	------------

文化財保存館(南側から)	奈良県文化財指定書
--------------	-----------



人形芝居資料

浄瑠璃語り資料



浄瑠璃本・木版本など古文書の展示

関係資料の展示

